

事業所名 **NPO法人発達障害サポートセンターピュア** 支援プログラム 作成日 年 月 日

法人（事業所）理念	私たちは、発達障害の方々や地域がつながりあう社会を実現します。		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様に合わせて「楽しい！」と思える活動内容の中で「一人でできた！」という達成感を養います。 ・お子様一人ひとりの生活力を高めるために「想いを伝える力」「自ら行動できる力」「ライフスキル」「ソーシャルスキル」の獲得を目指します。 ・一人ひとりの特性に合わせて支援方法を用います。 ・学んだことが家庭や学校に繋がっているよう、ご家族の方と日常や学校の様子等を話す時間を毎回設けます。 		
営業時間	11時	0分から	19時
	0分まで	送迎実施の有無	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	掃除や料理などの「家事スキル」、着替えや片付け・トイレや手洗いなどの「身辺自立スキル」、買い物や公共交通機関の使用などの「地域生活スキル」など、生活に必要なライフスキルを育てます。お子様にとってわかりやすいように、また自ら取り組めるように見てわかりやすい工夫（構造化）のアイデアを提供します。	
	運動・感覚	お子様が活動に集中しやすいように、衝立の使用や机を壁に向けるなどの工夫で必要ない視覚的な刺激を減らす配慮や聴覚の過敏さに対してイヤーマフ・デジタル耳栓などの使用、その他感覚の特異性への配慮（感覚の偏りに対する環境調整）をします。必要に応じてトランポリンなど運動器具を使用して前庭覚や固有覚などを刺激し、お子様が必要としている感覚を入力する機会を設けます。	
	認知・行動	一人ひとりの特性に合わせて文字やイラストを用いたスケジュールや手順書などの構造化のアイデアを用い、活動の流れや内容を自ら理解して取り組むことができる「理解コミュニケーション」の力を育てることで、「自ら行動できる力」を育みます。	
	言語コミュニケーション	一人ひとりに合わせたPECS®（絵カード交換式コミュニケーションシステム）やPECS® IV+（iPadでのPECS®）・筆談・リマインダーなどを用いて、自分の想いを相手に伝える練習を重ねていきます。想いが叶った経験を積むことで、自発的な「表出コミュニケーション」の力を育てます。	
	人間関係社会性	活動を通じて、ルールを守る、順番を待つ、友達と協力し合う、友達とのコミュニケーションを図る、感情を抑制しコントロールするなどといったスキルを学びます。スキルをしっかり身につけられるよう、お子様の特性に合わせて構造化のアイデア（見える化した工夫）を用います。	
家族支援	保護者の方に療育の場面を観察またはモニタ視聴いただき、お子様の特性やその特性を踏まえた関わり方をフィードバック・相談・援助を行います。必要に応じてお宅を訪問または事業所において、保護者の方とお子様の特性に配慮した対応の仕方や家庭での悩みを共有するなど、相談援助の時間を設けてさせていただきます。	移行支援	学んだことが家庭や園・学校に繋がっているよう、ご家族の方と日常や学校の様子等を話す時間を毎回設けます。働くことへのイメージづくりなどライフステージの切り替えを見据えた取組や外出活動を設けることで地域とつながりながら日常生活を送るための取組も行っています。
地域支援・地域連携	必要に応じて園・学校の先生方と連絡を取り、支援方法や環境調整等に関する取り組みについて共有をします。また、研修・コンサルタント事業では、学校の教職員や、生徒（子どもたち）、福祉職員、保護者、企業などそれぞれの領域に合わせた研修と幅広く行っています。	職員の質の向上	児童精神科医師をはじめとする専門家による定期的なスーパーバイズや施設内での研修・コンサルテーション、その他様々な施設内研修を行っています。外部研修としては、レベル1ワークショップ（PECS）とトレーニングセミナー（TEACCH）をすべての常勤スタッフが受講し、自己研鑽できるような仕組み作りを行っています。
主な行事等	季節ごとのイベント（節分、夏の水遊び、クリスマス会など）、遠足（枚方パーク、海遊館、明日香村への電車旅など）、利用者OBOG同窓会		